いのちの戦場　－アルジェリア１９５９－（2007）

L'ENNEMI INTIME

メディア 映画
ジャンル ドラマ　戦争
製作国　フランス
色彩　Color
時間　112分
初公開日 2009/02/28
公開情報 ツイン

【解説】

フランスにとっての暗部として長らくタブー視され、近年ようやく歴史的な再検証の動きが高まってきた“アルジェリア戦争”の実像に迫る戦争ドラマ。長年にわたる植民地化政策のために複雑にねじれた関係となっていたフランスとアルジェリアの間で繰り広げられた独立戦争の過酷な現実をリアルに描き出す。主演は本作の立案者でもあるブノワ・マジメル。脚本はアルジェリア戦争を題材にしたＴＶドキュメンタリーも手掛けたパトリック・ロットマンが担当。監督は「スズメバチ」「ホステージ」のフローラン・シリ。

1954年、フランスからの独立を求め、アルジェリア民族解放戦線（ＦＬＮ）が武装蜂起する。フランスはこれを押さえ込むため大規模な軍隊を投入、戦争へと発展する。1959年、フランス軍はゲリラ戦を展開する解放戦線に苦戦を余儀なくされ、戦況は出口の見えない泥沼化の一途を辿っていた。そんな中、戦死した前任者の後釜としてカビリア地方に赴任してきたテリアン中尉。さっそく向かったタイダ村で、テリアンは情報を引き出そうと村人に暴力を振るう部下のベテラン兵士を制止する。過酷な戦場でも人間性を保ち節度ある行動を自らに課そうとするテリアンだったが…。

【クレジット】

監督	フローラン・シリ	Florent Siri	
脚本	パトリック・ロットマン	Patrick Rotman	
撮影	ジョヴァンニ・フィオーレ・コルテラッチ	Giovanni Fiore Coltellacci	
美術	ウィリアム・アベロ	William Abello	
音楽	アレクサンドル・デスプラ	Alexandre Desplat	
出演	ブノワ・マジメル	Benoit Magimel	テリアン中尉
	アルベール・デュポンテル	Albert Dupontel	ドニャック軍曹
	オーレリアン・ルコワン	Aurelien Recoing	ヴェルス少佐
	モハメッド・フェラグ	Mohamed Fellag	捕虜
	マルク・バルベ	Marc Barbe	
	エリック・サヴァン	Eric Savin	
	ヴァンサン・ロティエ	Vincent Rottiers	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.